

平成 25 年 6 月 9 日  
柏田 三千代

## 日本国際情報学会 愛知 (PH) 研究部会

### 第一回 勉強会 報告書

日本国際情報学会の分科会である愛知 (PH) 研究部会は、研究者個々が取り組んでいる研究を、研究者全員で一緒に問題をその根源から真剣に考え、研究者相互において知恵の交流を図ることを実施しました。

#### 【日程】

平成 25 年 6 月 8 日 10 : 30 ~ 16 : 30

#### 【場所】

一般財団法人 京都府中小企業センター 702 会議室

#### 【内容】

- 10 : 30 ~ 11 : 00 愛知 (PH) 研究部会代表 磯部千枝 開会の挨拶  
参加者全員の自己紹介
- 11 : 00 ~ 12 : 00 『成唯識論』の言語論—現象学からの解読— 玉置 知彦
- 13 : 00 ~ 14 : 00 『ゲシュタルト心理学が哲学に与えた影響について』 栗崎 由貴子
- 14 : 05 ~ 15 : 05 『看護をどのように哲学していくか』 伊藤 ちぢ代
- 15 : 10 ~ 15 : 40 『フッサール現象学—リングの実在性確信—』 坊農 豊彦
- 15 : 45 ~ 16 : 10 『ナイチンゲールとプロティノスの思想的関連性について』 柏田 三千代
- 16 : 10 ~ 16 : 20 佐々木 健 先生からの総括
- 16 : 20 ~ 16 : 30 愛知 (PH) 研究部会代表 磯部千枝 閉会の挨拶

#### 【参加者】

10 名

#### 【総評】

第一回愛知 (PH) 研究部会の勉強会は、まず研究部会代表の挨拶から始まり、次に参加者全員の自己紹介で他者理解が行われた。個々の発表では、発表者が現在取り組んでいる研究について、参加者全員から質問があり、研究内容の細部にわたって白熱した議論となった。その参加者全員による議論と佐々木先生からの指導は、発表者に新たな視点での気づきや、参加者へ新たな知識を与えることになり、参加者全員の知恵の交流を深めることができた。また、勉強会終了後にも、今回発表されなかった参加者から「次回は発表します。」との声も上がり、研究への意識を高めることにもつながっていた。

